

# 市民活動・虎の巻

研究テーマ 『イベントで飲食を扱うには』

市民活動に取り組む中で、自分たちでつくった食べ物・料理を多くの人に提供したいと思うことはありませんか？ しかし、安全安心に万全を期すため、飲食を提供するにはしっかりとルールに則らなければならず、「難しそう…」と二の足を踏んでいる団体も多いと思います。実際に飲食を提供するまでに、どんな段取りを進めていけばよいのでしょうか。

- ・イベントの際など臨時的に出店する
- ・調理、製造した食品を販売する……

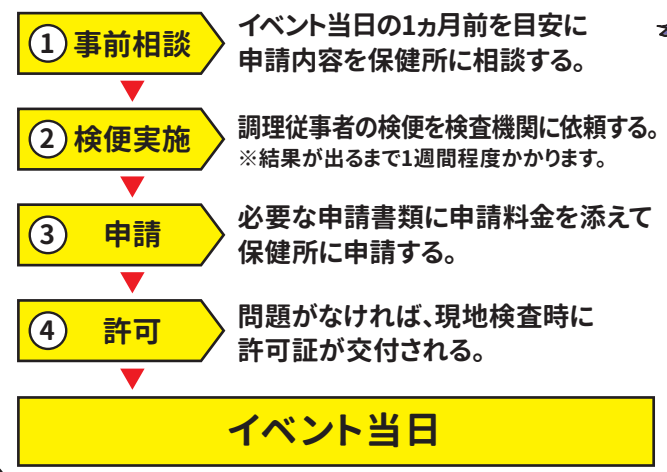
**臨時食品営業許可申請が必要です。**

- ・学校、社会福祉施設の行事に関連して出店する
- ・調理、製造した食品を販売する……

**届出、講習会受講が必要です。**



## 臨時食品営業許可申請の流れ



## Q&A

- Q. イベントで食品をふるまう場合も許可が必要？
- A. 食品提供にあたって対価の授受が伴わず、短期間かつ繰り返し行われるものではなく、小さな規模で行われる場合は、許可は不要です。
- Q. 農作物の販売にも許可が必要？
- A. 野菜、果物、米などの農作物を加工せずに販売する際は、許可は不要です。また、許可業者が製造した包装された菓子、パンを仕入れて販売する際も許可は不要です。
- Q. どんな食品でも取り扱いできるの？
- A. どんな食品でも取り扱いできるわけではありません。また、食品によっては期間や提供方法に制限があります。
- Q. 申請費用はどれくらいかかるの？
- A. 飲食店、喫茶店の営業の場合は4,000円、お菓子の製造販売、弁当の販売では3,500円の申請料金がかかります。申請料金は営業内容によって異なります。
- ※詳細は保健所へお問い合わせください。



Racotte vol. 78

発行 ● ながおか市民協働センター



頑張る若い世代を後押しする盛り上げリーダー

## 櫻井 恵さん



山古志を支えるプロジェクトリーダー

## 田中康雄さん

- 活動PickUp!
  - 優香の会
  - NPO法人建築・住教育研究会-10分の1組立住宅模型を使った
  - おぐに歩こう会
  - 有限会社 十二屋
- 市民活動・虎の巻
  - 『イベントで飲食を扱うには』
- 私たちは〇〇ができます!
  - NPO法人新潟マック

毎週月曜日17時頃から放送中!

**つながるラジオ**

FMながおか 80.7MHz | ながおかの市民活動紹介番組 | 放送時間 10分程度 第5月曜日を除く

ながおかの市民協働のポータルサイト

**コライト、見ないと!**

https://nkyod.org | 協働センターのホームページ「コライト」では、市民が行うイベントや助成金などの情報を幅広く掲載しています。 | コライト | 検索

we can do it!

私たちは **〇〇ができます!**

長岡には様々なノウハウやスキルをもつ市民団体がたくさん! 困りごと、協力してほしいことはありませんか? 私たちが力になりますよ!

information

センターからのお知らせ

税務 会計 労務 法人設立

**団体運営のテコ入れに! 専門家を派遣します!**

活動団体の組織運営能力アップを目指して各団体のニーズに合わせた講師を無料で派遣します。この機会に団体のお悩み解決、スキルアップを図りませんか? ヒアリングの後、派遣する専門家を決定します。まずは協働センターまでお問い合わせください。

**対象** 長岡市内のNPO法人、市民活動団体など公益的な活動をしている団体

**募集数** 5団体(先着順)

**申込期間** 令和2年2月末まで随時受付

**相談の例**

- ・情報発信にLINE@を活用したいため使い方を教えてほしい(子育て系市民団体)
- ・育児休暇を取る予定のスタッフがいるため制度を整備したい(福祉系NPO法人)

「NPO法人新潟マック」は、**依存症についての講演ができます!**

アルコール・薬物・ギャンブルなどの依存症者の社会復帰を目指し、グループホームの運営などに取り組んでいます。正しい依存症の知識を広めるための研修会や講演会を学校や地域、企業に向けて行っています。

協力してほしいこと 「正会員」として法人運営活動に参加頂ける方、「賛助会員」としてご支援頂ける方を募集中です。

活用しよう! **協働マッチングリスト**

市民活動団体の「協力できること」「協力してほしいこと」をまとめたリストです。リストを開けば、助けになる団体、または力になれる団体がきっと見つかります!

地域をよくするウワサのあの人にインタビュー！  
活動に込める気持ち、これまでのいきさつ、組織での役割……。根掘り葉掘りお聞きしました。

活動の根っこ  
若い子たちの  
力になりたい！  
櫻井 恵



櫻井 恵さん(41歳)  
ともぶらす  
1977年三島生まれ。18歳から(株)柳醸造に勤務。ともぶらすでは食べるチームに所属し、イベントの飲食出店関係を担当している。

## 仕事の延長から地域活動に 公私両面から地域を盛り上げる！

三島地域で昔ながらの手づくり味噌や、漬物を製造販売する柳醸造株式会社に勤める櫻井さんは、三島地域の若い世代が自分たちで楽しみながら地域を今よりも面白く、元気にすることを目的として活動する『ともぶらす』のメンバーです。

ともぶらすに加入したきっかけは、2017年にながおか・若者・しごと機構が主催した『みしま若者会議』に参加したこと。「三島の企業からも参加してほしいと声をかけられ、若い世代が地域に出ていくことを推奨する社風だったこともあり仕事の延長で参加してみました」。最初は地域を良くしたいというよりも、仕事のアイデアをもらえたらと思っていたそう。しかし、そこでの出会いが櫻井さんを変えました。「若者会議に参加してみると、三島が大好きな人、三島を盛り上げたい人たちが

たくさんいることを知り驚きました。このメンバーとなら楽しいことができそうと思い、仲間になりました。今では頑張っている若い子たちを助けてあげたいという思いが強いです。」ともぶらすでは、食品会社勤務を活かし、イベントの飲食出店の調整等を担当する食べるチームに所属。イベントにも会社のブースを設け、会のメンバーから意見をもらった商品の販売も行っています。

「母のような気持ちで世話を焼かせてもらっている」と話す寛容な櫻井さんですが、自分よりも若い世代のアイデアに衝撃を受けることも。「会議で出てくるイベント案が斬新すぎてつい反対してしまうこともあります。でも、いい刺激になることが楽しい理由のひとつでもあります。斬新な企画も実現できるよう、力を貸していけたらと思っています。」



●ともぶらすのイベントの後の慰労会も楽しみのひとつ。年代気にせず盛り上げられるのがいいところです。

## チャレンジでモチベーションと活気を！ 楽しく続く地域づくりを目指して

山古志地域でコミュニティバスの運行や、やまこし復興交流館おらたらの施設運営に加え、最近ではインバウンド向けツアーなど、住民の生活サポートから観光まで幅広い事業を手がけるNPO法人中越防災フロンティア。家業の清掃業を生業としながら、この組織で事務局長を務める田中康雄さんは、16年間の東京暮らしを経験したUターンです。「ずっと東京で暮らすものと思っていましたが、2004年の中越大地震で被災し、父が家業である清掃業をたむと言い出したんです。なくしてしまうのは惜しいと思い、山古志帰村のタイミングで帰ってきました。」

地域での生活があってこそ成り立つ清掃業ということもあり、家業に加え全村避難からの復興に取り組む地域の最前線に加わり、実働部隊として汗を流してきました。そんな中で、地

域づくりを考える場で検討されていた地域生活の足となるコミュニティバスの運行に、家業が活かせるのではと現在の組織に参加しました。

その後、フロンティアは地域住民とともに様々な地域づくり事業を展開。同時に、若手スタッフや県外出身の地域おこし協力隊など、多様な人材を受け入れてきました。

幅広い事業を手がける組織の現場を束ねる田中さんが大切にしていることは、チャレンジすること。多角的な地域づくりが求められる山古志では、「動き続けることが地域の活気を生み出すカギ」と、若手の感性を活かしたアイデアを実現できるようサポートをしています。「行動してもすぐに状況が良くなることってそうないと思っています。10年後も続けていられるように、気張り過ぎず、ゆるみ過ぎず、みんなで楽しさを感じていきたいです。」

活動の根っこ  
出来るように考えろ！  
田中 康雄

田中 康雄さん(46歳)  
NPO法人中越防災フロンティア  
理事・事務局長  
1973年山古志村生まれ。大学進学で上京後、エンジニアと営業を経験。中越大地震をきっかけに2007年Uターン。地域維持に力を尽くしている。



●雪かきボランティアの技術向上を図る『雪かき道場』の事務局として、実践につながるよう、スキルを伝授しています。

## 活動PickUp!

### 優香の会

香道のまち与板を広める

与板



城下町与板ではその昔、豪商の間で「香道」が親しまれていました。心落ち着かせるいこしえの香りを優雅に楽しむ香道を現代にも伝えたいと、2011年に5人で会を立ち上げ、今は10人で活動しています。与板コミセンでの講座、楽山苑でのイベントとのコラボなどで興味を持つ人が増えてきました。古典文学と「香道」の深い関わりを伝え、現代の癒しのツールとして若い層へも広めていきたいと思っています。

### おぐに歩こう会

住民による住民のための健康促進活動

小国



小国の自然や歴史に触れながらみんなで楽しく地域を歩くことを目的に20数名の会員が集まり、5月～11月の間、月に2回ウォーキングしています。また毎年10月には、おぐにコミュニティセンターと連携してウォーキング大会を開催しています。目標は、一度付いたらなかなか消えない炭火のように、規模は大きくなくとも歩くことが好きな人が集まり、この活動を続けていくことです。

### NPO法人建築・住教育研究会-10分の1組立住宅模型を使った 中学生に建築の原理を伝えよう活動するプロ集団

長岡



メンバー特製の1/10住宅模型を、生徒が自ら書いた図面をもとに組み立て、住宅の仕組みや構造及び環境、建材の特性を体感して学ぶプログラムを実施。中越大地震を契機に、講師は自分たちの得意分野を活かして子どもに住宅について学んでもらい、将来に役立たせたいと思い活動を始めました。建物は生活の舞台。自分の身は自分で守れるよう、住まいを考えられる大人になれることを願って市内外の学校を回っています。

### 有限会社 十二屋

お客様との会話から生まれた移動スーパー

長岡



村松地域に店舗を構える手づくり豆腐の店「十二屋」は、50年以上移動販売を続けています。社会の流れの中、近所に商店が無くなったお客さんの要望に応え、豆腐に限らず惣菜から日用雑貨までを積む販売車は、さながら小さなスーパー。山古志から越路地域と幅広く回り、小さくとも地域の生活を支える力となっています。待ってくださるお客さんに、会話と買い物を楽しむ時間も運んでいます。

## みんなの声

投稿  
随時募集中

投稿テーマ 「これも協働!？」暮らしの中で感じた人とのつながり

- 投稿方法
  - 投稿フォームを使う
  - 協働センター窓口で投稿する

投稿者  
ラムちゃん  
さん

投稿者  
事務局から営業マミー  
さん

予測変換で自分が普段どんな言葉をよく使っているのかが分かりますけど、ふと意識してみると「一緒に」「共に」「しよう」って協働ワードが多くて嬉しくなりました。これからも増やしていくぞ〜!

これまで経験したことがない部署に異動になりました。分からないことがばっかりだけど、周りの人のサポートのおかげでだんだん仕事を覚えてきました。そして、これまで気付かなかった自分の長所にも気付くことができました。実は、上司がちゃんと見ていてくれたのかな!?

